

# 第8回活カグループまとめ

## コンパクトシティの概念

直径500m程度の範囲に、日常に必要な施設の整備  
(病院・役場・銀行・郵便局・JA・衣食住の商店)

日常の健康維持・医療受診の体制の充実  
(佐久病院・雨宮病院・周辺開業医・薬局・薬店の集約と連携)

佐久総合病院を中心とした高齢者に住みよい福祉の充実したまち  
(福祉施設・老人マンションなどの中心部集約化)

## 施設

老人向けマンション・介護施設の誘致  
病院を核として中心部に福祉施設・移住者向け有料マンションを建設

勝間園の中心部への移設

オアシス広場  
周辺地域の歴史・文化等の巡回ツアーの発着点としての休憩施設

コミュニティセンター・リハビリセンター・健康ランド・地元食材販売センターの複合施設

温泉プール・風呂を作って若い人も行きかう町

ワンコイン銭湯で交流の場

## 駐車場・歩道

看護学校前の職員駐車場、臼田中央ビルを解体し、患者さんの立体駐車場を建設  
商店街を通る病院へのアクセス

病院周辺から稲荷山まで車いすの通行可能な歩道の整備

駐車場と病院、商店街の一体感

歩行者優先ゾーンの整備  
無償の移動手段の提供(自転車など)

## 商業・産業

新しい商店経営者の発掘・募集、ブランドのある商店づくり

臼田の特産品・地元産農産物の販売 → 道の駅

ホームページの開設(市または商店街で管理)  
商店街・企業の紹介  
空き店舗の入居者募集

医療機材の地元企業での製造・メンテナンスなど魅力ある商品の開発

## 稲荷山・公園

稲荷山の駐車場の整備  
商店街から車いすで登れるように歩道の整備  
健康・リハビリに有効利用

旧臼田時代の稲荷地区街路整備、鳥居、星の名前の街路等が中途半端になっている  
計画当初の思い実現していく努力を

## 観光

病院を中心に人が回遊できるまち  
若月総長の家を記念館に  
臼田出身の偉人たちの検証施設  
民俗資料館など

案内看板で、観光施設同士を結びつけ、一体感のあるまちづくり

ぴんころ地蔵の見学 → (ぴんぴんころりの考え方)

本院内に長寿教室  
体操・遊戯・検査等の専門ホール  
長寿料理の提供(食材の地産地消)  
平の宿泊施設で一泊

## 佐久総合病院

災害(千曲川の氾濫等)も考慮した設計を

病院で使う資材・食材は「地産地消」を

看護専門学校の拡充

地域医療センターの具体的な姿の早期発表を

## 福祉

福祉が充実 → 買物が楽 行動が楽  
気楽に話せるコミュニケーション  
趣味を活かせる

## 小学校

小学校の統合計画を早期に立て、跡地利用も含めた有効活用

## 医師住宅

医師住宅用の土地の提供

病院従業員駐車場と空き医師住宅を高年齢者共同住宅に  
行政も参入、有効利用を